

生物を育てるための計画と管理～福山の花 ばらを育てよう～

【題材の概要】

本校は「自立して社会に貢献できる生徒の育成」を学校教育目標にしており、その目標の実現を目指して全ての教育活動を行っています。技術・家庭科（技術分野）としては、「災害時に避難場所としての学校づくり」と「地域に開かれた『憩いの場』としての学校づくり」の二つの視点から授業を構成することで、その達成を図ることができると考え、題材を構成しています。

福山市は、戦後復興のシンボルとして、現在のばら公園に1000本のばらの苗を植えています。今でもその思いが引き継がれ、「100万本のばらのまち福山」を目指し取組を行っています。本題材は、「福山市の市の花」でもある「ばら」を取り入れ、「地域に開かれた『憩いの場』としての学校づくり」の視点の下、ばらの栽培とばら園の整備を行う学習活動を行うことで、生育環境が生物に及ぼす影響や、生物の育成に適する条件及び育成環境を管理する方法を知ることができるようにするとともに、社会や環境との関わりから生物育成に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成していきます。

◆題材の目標

生物育成に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、生物育成に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し活用する能力と態度を身に付ける。

◆題材の計画（全13時間）

【情報の収集（2時間）】

- ・作物を栽培する技術、動物を飼育する技術、水産生物を栽培する技術について知り、生活や社会で利用されている様々な生物育成に共通する技術の仕組みを理解する。

【課題の設定（1時間）】

- ・福山市とばらの歴史的背景について学習し、市民のばらへの熱意に触れ、ばらを通じて“思いやり・優しさ・助け合いの心”を表す「ローズマインド」を育てようという市民の想いを知ることを通して、地域へ貢献しようとする意識を高める。そして、「学校のばら園を『地域の憩いの場』として活用してもらおう」という課題を設定し、どうすればよいかを考える。

学校のばら園を地域の『憩いの場』にしよう。

【情報の収集（3時間）】

- ・本、インターネット、地域のばら愛好家へのインタビュー等で情報を収集し、ばらを栽培するに当たって、様々な管理作業があることを理解する。
 - 灌水の仕方
 - 剪定の仕方
 - 追肥の仕方
 - 薬剤散布の仕方 等
- ・グループで担当するばらやばら園を観察・調査し、ばらの特性やばらを取り巻く環境要因についてまとめる。

【整理・分析（2時間）】

- ・調べたことを基にグループで管理作業等の育成環境の調整方法を構想し、具体的な栽培計画を作成する。
- ・全体で意見交流を行い、栽培計画を修正する。

【まとめ・創造・表現（4時間）】

- ・栽培計画を基に、グループで協働して、管理作業等を行う。また、地域のローズボランティアの方々に、技術指導をしていただく。
 - ばらや育成環境を観察
 - 灌水
 - 花殻切り
 - 追肥
 - 病虫害駆除
 - 夏剪定・冬剪定
- ・ばらや育成環境の状況を栽培レポートにまとめ、管理作業等を評価、改善及び修正を行い、全体で共有する。（情報の収集、整理・分析、まとめ・創造・表現の各段階を往來しながら、適切な管理作業を行う。）

【振り返り（1時間）】

- ・生物育成に関する技術の適切な評価と活用について考える。
- ・課題解決の学習活動を振り返り、学校のばら園が地域の『憩いの場』として、さらに充実していくよう、ばらの管理・運用の在り方について後輩に提言する。
- ・今後、「D情報に関する技術」の学習で、どのように表現・発信すれば、地域の『憩いの場』になるかを考え、情報発信を行っていく。